

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		保健衛生諸費（国保会計）[国民健康保険人間ドック等受診料助成事務事業]									
予算科目	款	5	保健事業費	項	2	保健事業費	目	1	保健衛生諸費	事業番号	1
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保険年金 課 国民健康保険給付 係					課長名	岩野 秀夫				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 5		
【施策名】 社会保障の充実								総合計画書 (ページ)	63		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 人間ドック等を受診した40歳以上の東大和市国民健康保険被保険者で次の条件を満たす者 ① 受診日現在で東大和市国民健康保険の被保険者であること ② 申請日現在で、納期到来の国保税を完納していること					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 東大和市国民健康保険被保険者数（年報年度平均人数）					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 疾病の早期発見と予防により健康の保持増進を図る					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 受診率					
	③ そのために何をしましたか。 東大和市国民健康保険被保険者（40歳以上）が、人間ドックまたは脳ドックを受診した場合に、受診費用の一部を助成（上限23,000円）し、疾病の早期発見と予防により健康の保持増進を図る。 ①受診→②申請受付（資格確認・納税確認・書類審査）→③支給決定→④支払事務					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 受診件数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	19,587	18,818	18,472					
	成果指標	②の数値	%	2.3	2.6	1.9					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方 申請者に対し、適正に給付を実施する。「目標値」の設定については、なじまない。											
3 経費	事業費（実績）		円	10,518,620	11,420,980	7,903,460		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	10,518,620	11,420,980	7,903,460					
		特定財源（国・都・他）	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	時間	120.0	120.0	120.0					
		所要人数(再任用)	時間								
		職員人件費(再任用以外)	円	516,000	516,000	516,000					
		職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	11,034,620	11,936,980	8,419,460						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成4 年度								
	(2) 環境の変化										
平成20年度から、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病の予防を目的に40歳以上の被保険者を対象に、特定健康診査を実施しており、一定の健診を無料で受診することができる。											

事業名称	保健衛生諸費（国保会計）〔国民健康保険人間ドック等受診料助成事務事業〕			
担当部署・課長名	保健事業費	課	国民健康保険給付	係 課長名 岩野 秀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 人間ドック（健診）の趣旨と国保の財政状況から、2重給付が生じないようにどちらかに制限したほうがよい。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 近隣市を調査したところ、助成額の比較では、当市は高額であったが、疾病への早期発見等に資するためには、健康を意識を向上させる観点から、助成額を減少させにくいため、今後は、受診結果の提出を求め、健診受診結果に反映させ、交付金の増額を図る検討が必要。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	令和3年4月1日受付分から受診結果の提出を求められることができるよう、人間ドック等受診料助成規則の改正を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	交付金の増額を図るため、受領した受診結果を、適切に健診受診結果に反映させる必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 社会保障の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 受領した受診結果の適切な取扱いが必要である。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	受領した受診結果を、健診受診結果に反映させる時期や方法等について、検討が必要である。			